令和７年度

事　業　実　施　報　告　書

新潟市南区社会福祉協議会

新潟市南区社会福祉協議会事業報告

【概要】

南区社会福祉協議会では、これまで、地域住民や関係機関と連携し、創意工夫を凝らしながら、地域福祉活動のさらなる充実と活性化に取り組んできました。

また、コロナ禍を経て、生活に困窮した世帯の中には、依然として厳しい状況が続いているケースも多いため、経済的負担の軽減を目的として、日用品や食料品の提供を通じた相談支援を継続して実施しました。あわせて、生活困窮の予防的取り組みとして、若い世代を対象にライフスキルツールを教材として活用し、家計管理や相談機関に関する知識を学ぶ福祉教育講座を、白根高校の授業の一環として実施しました。

令和３年度からの６ヶ年計画である「第３期地域福祉計画・地域福祉活動計画（南区地域福祉アクションプラン）」に基づき、支え合いのしくみづくりや、区社協の事業を通じて顕在化した福祉課題の発信に努めるとともに、各地区においてコミュニティ協議会や関係団体と協力し、地域課題の解決に向けた活動を検討・推進しました。

少子化が進行する南区においては、「地域共生社会」や「支え合いのしくみのある地域」の実現を目指し、「子育て支援からつながる地域づくり」をテーマに、「共に生き支え合う南区地域づくりフォーラム」を開催しました。実践報告では、居場所を拠点としたつながりにより自然な支え合いが育まれ、支援につながるハードルが下がることが確認されました。これを受け、子育て支援は地域全体で取り組むべき課題であり、子育て家庭の「余裕」を生み出す環境づくりが必要。そのためには、地域のサポートや居場所が重要であることが示され、参加者にとって今後の地域づくりに活かすための学びの機会となりました。

今後も、令和７年度に実施した事業を基盤として、より具体的な展開へとつなげながら、地域住民が住み慣れた地域で安心・安全に暮らし続けられるよう、地域福祉の推進に取り組んでまいります。

【事業実施状況】

１．区社協地域福祉推進活動事業（市社協基本目標１：孤立を見逃さない地域づくり）

（１）地区社協活動交付金事業

地区社協で行っている地域の課題に対応した事業に事業費助成を行ったほか、地区社協がより活発に活動できるよう情報交換会を行うなど、様々な支援を行いました。

〇コミ協会長・地区社協会長・地域生活センター職員合同会議

開催日	会　場	協議内容
令和７年 ８月６日（水）	サルナート	・社協会費、共同募金及び歳末たすけあい募金について ・令和７年度地区社会福祉協議会交付金について ・令和７年度地区社会福祉協議会活動推進事業について ・地区社協活動事業実践報告（白根地区・庄瀬地区） ・地区社協活動に関する意見交換会 ・南区社会福祉協議会業務依頼について ・第 17 回南区社会福祉大会被表彰者等の推薦について ・共に生き支え合う南区地域づくりフォーラムについて ・令和７年度共同募金公募型助成事業の募集について

〇コミュニティ協議会との連携・協働

地区社協の福祉事業がコミ協と協働して実施されるなど、地域福祉の事業推進についてコミ協との連携を深めながら、より一層の地域福祉の向上、育成に努めました。

（２）地域ふれあい助成事業

自治会・町内会、地域コミュニティ協議会が実施する高齢者等見守り活動に対し、事業費助成を行いました。

	R7（件）	R6（件）	R5(件)
取り組み件数	1	0	1

（３）地域福祉活動計画推進事業

第３期南区地域福祉アクションプラン（令和３年度～8 年度までの６年間）の計画推進のため、行政と連携し計画の進捗管理のための推進委員会を開催し、目標達成のための活動事業について検討しました。

また地区別計画については、年度初めと年度の終盤に地域で推進会議を開催、目標達成に向けた地域活動を検討し評価検証する仕組みをつくりました。

回	開催日・会場	主な内容
1	令和７年８月 18 日(月) 南区役所　４階　講堂	・南区地域福祉アクションプラン分野別計画における令和 7 年度の取り組みについて

		・同プラン地区別計画の令和7年度の取り組みについて　他
2	令和8年3月9日（月） 南区役所　4階　講堂 講堂	・南区地域福祉アクションプラン分野別計画の令和 7 年度の取り組みと評価について ・同プラン地区別計画の取り組みと評価について　他
3	（地区推進会議） ① 令和7年6～7月 ② 令和 7 年 12 月～令和8年2月	① 令和7年度のアクションプランの取り組みに関する計画打合せ会議（12 地区で開催） ② 令和 7 年度のアクションプランの取り組みに関する評価会議（12 地区で開催）

（4）地域包括ケア推進事業（1層）：受託事業

地域コミュニティ協議会や自治会・町内会、地域の茶の間等で支え合いのしくみづくりや地域での見守り、助け合い・支え合いの活動の立ち上げに向けた啓発を第 2 層圏域の支え合いのしくみづくり推進員と協力して行いました。また「共に生き支え合う南区 地域づくりフォーラム」では、南区内の活動を発表し、住民の意識啓発に努めました。

定期的に開催する SC 連絡会では、各圏域が抱える課題を共有し、相互に連携・協力しながら活動を進められるよう支援を行いました。会議では、各圏域の取り組み状況や課題を持ち寄り、情報交換を通じて解決に向けた方向性を検討しました。

また、地域包括支援センターとの圏域別の情報交換においては、地域の課題や活動内容を中心に共有を図りました。これにより、地域の実情に即した支援体制の強化や、関係機関との連携促進につながりました。

南区助け合い「お互いさま・新潟」（通称：南区お互いさま）については、相談の連絡が入ると、各地区で運営している生活支援サービスへつなぎ対応してもらいました。

南区第 1 層支え合いのしくみづくり会議では、高齢者を取り巻く課題の抽出と共有を改めて行いました。会議では、構成団体がそれぞれの立場から地域の現状を振り返り、自団体として取り組めること、また他団体と協力して取り組むべきことについて検討を進め、地域全体で支え合い体制を構築するための方向性を整理しました。

○南区第1層支え合いのしくみづくり会議開催状況

	開催日	主な内容
第 19 回	令和 7 年 7 月 3 日（水）	(1)南区第 1 層支え合いのしくみづくり会議構成員の交代について (2)令和 6 年度南区生活支援体制整備における事業実施報告について (3)令和 7 年度南区おける生活支援体制整備事業方針について (4)高齢者を取り巻く課題について
第 20 回	令和 7 年 9 月 27 日（金）	(1)第 1 回支え合いのしくみづくり会議の振り返り (2)南区の課題へのアプローチ ①生活支援サービス ②通いの場について ③情報発信について

第 21 回	令和８年２月 ５日（水）	(1)令和７年度 南区第２層生活支援体制整備事業について (2)令和７年度 南区第１層生活支援体制整備事業報告及び 令和８年度 南区第１層生活支援、第１回支え合いのしくみづくり会議の振り返り

○南区第２層支え合いのしくみづくり会議開催状況

圏域	開催日	会場
臼井・白根北	令和８年２月 20 日（金）	大通地域生活センター
白南・白根第一	令和８年２月 27 日（金）	南区役所
味方	令和７年４月 22 日（火）	味方出張所
	令和７年６月 16 日（月）	
	令和７年８月 20 日（水）	
	令和７年 10 月９日（木）	
	令和７年 12 月 17 日（水）	
	令和８年２月 12 日（木）	
月潟	令和８年２月 26 日（木）	月潟出張所

○南区支え合いのしくみづくりフォーラムの開催

開催日時	会場	内　　容
令和７年 12 月 13 日(土)	白根学習館 ラスペックホール	※「共に生き支え合う南区 地域づくりフォーラム」と題し、地域福祉推進フォーラムと合同開催 18 ページに詳細を記載してあります。

○南区助けあい「お互いさま・新潟」（通称：南区おたがいさま）の活動

【住民相互の助け合い活動の実施・相談の受付】

南区助け合い「お互いさま・新潟」については、各地区で生活支援事業の立ち上げが進んだことから、ご相談をいただいた依頼を各地区の活動を紹介し対応しました。

○相談内訳（R7.4.1～R8. 3. 31）

圏　域	臼井 白根北	白南 白根第一	味方・月 潟	事業所 その他	計
問い合わせ件数	０件	２件	０件	１件	３件
問い合わせ内容	・草取り ・移動支援について ・生活支援内容について				

○南区生活支援サービスサミットの開催

南区の生活支援サービスの向上と団体同士が活動について相談できる関係づくりやネットワークをつくることを目的に開催しました。

開催日時	会場	内　　容

令和 7 年 10 月 14 日（火）	白根健康福祉センター	・趣旨説明 ・南区の公共交通の現状と展望 ・情報交換

２．区社協見守り・生活支援事業（市社協基本目標２：ネットワークを活かした一人ひとりの困りごとの解決）

（１）おせち料理等宅配事業

各地区社会福祉協議会の地域福祉事業と連携を図り、地域の要援護者への配食サービス、友愛訪問活動、及びおせち料理宅配事業を実施しました。

区社協名	実施団体（協力団体）	昼食会参加数 配食数	安心箱等 訪問回数	おせち配食 世帯数
新飯田地区社協	地区社協、民生委員、自治会 保育園保護者会、地域代表	―	19	21
茨曽根地区社協	地区社協、民生委員、自治会 コミ協	128 （配食）	43	24
庄瀬地区社協	地区社協、民生委員	45 （配食）	144	36
小林地区社協	地区社協、民生委員、食推委員 コミ協	16 （昼食会）	162	27
臼井地区社協	地区社協、民生委員	133 （配食）	133	38
大郷地区社協	地区社協、民生委員	91 （配食）	271	25
鷲巻地区社協	地区社協、民生委員、自治会	98 （配食）	15	13
根岸地区社協	地区社協、民生委員	―	84	26
大通地区社協	地区社協、民生委員	22 （昼食会）	274	54
白根地区社協	地区社協、民生委員	52 （昼食会） 220 （配食）	―	207
味方地区社協	地区社協、民生委員	―	17	58
月潟地区社協	地区社協、民生委員	―	64	41
合　計		805 人 （804 人）	1226 人 （1113 人）	570 食 （588 食）

※（　）内は前年度数

（２）子育て支援事業

南区内の子ども・子育て支援団体が活発に活動できるよう、概ね月１回程度の開催がある活動に対して助成を行いました。また、団体同士のつながりづくりの場や今後の活動の一助となることを目的としてネットワーク会議を開催しました。

物価高騰等により厳しい生活状況が続くひとり親世帯へ生活支援を実施、生活困窮の子育て世帯への支援を検討するためのアンケート調査および検討会を開催しました

○子どもの居場所づくり支援事業助成

助成団体数：2 団体

地区	開催名	会場
大通	大通こども食堂もぐ	大通地域生活センター
白根	子育てサロン OHANA	白根学習館

○南区子育て支援団体ネットワーク会議

開催日時	会場	内　　容
令和 7 年 9 月 17 日(水)	白根健康福祉センター	・各団体活動紹介 ・情報交換会

○ひとり親世帯への生活支援事業

開催日時	会場	内　　容
令和 7 年 7 月 25 日(金)、 26 日(土)	白根健康福祉センター	・生活支援事業 ・アンケート調査 協力：賛同団体・企業、南区健康福祉課児童福祉係

○生活困窮の子育て世帯への支援検討会

開催日時	会場	内　　容
令和 7 年 10 月 6 日(月)	南区社会福祉協議会	・アンケート調査報告 ・各団体・機関の活動のなかでみえる子育て世帯の課題について意見交換

（3）緊急情報キット配付事業

高齢者や障がいのある方などの緊急時に備え、連絡先やかかりつけ医、持病等を記載した用紙をボトルに入れて冷蔵庫で保管しておくための緊急情報キットを地区社協、民生委員、自治会・町内会長の協力のもと配布しました。

＜令和 7 年度配布内訳＞

地区名	単身高齢者	高齢者のみ	身体障がい者	知的障がい者	その他	有償	合計（本）
新飯田	2	1	0	0	0	0	3
茨曽根	0	1	0	0	0	0	1

庄　瀬	3	0	0	0	0	0	3
小　林	0	0	0	0	0	0	0
臼　井	2	2	0	0	0	0	4
大　郷	1	0	0	0	0	0	1
鷲　巻	1	0	0	0	0	0	1
根　岸	3	1	0	0	0	0	4
大　通	6	3	0	0	0	0	9
白　根	13	1	1	0	0	1	16
味　方	11	4	1	0	0	0	16
月　潟	0	0	0	0	0	0	0
施　設	0	0	0	0	0	0	0
合　計	42	13	2	0	0	1	58

*令和 7 年度末までの総配布数 1,260 本(うち 201 本有償)

（4）サロン助成・支援事業

高齢者や子育て中の方々をはじめとする地域住民の孤立防止と、地域における助け合いの意識醸成を目的として、自治会・町内会等の小地域が主体となり仲間づくりや多世代交流を進める「地域の茶の間・ふれあいいきいきサロン」の立ち上げ支援および助成を実施しました。新規立ち上げ団体に対しては、事業内容の相談対応や運営方法の助言を行い、活動開始に向けた環境整備を支援しました。

また、南区内で開催されている地域の茶の間・ふれあいいきいきサロンや子育てサロンの開催状況の把握に努め、その情報を「南区社協だより」に掲載することで地域住民への周知と参加促進へつなげました。

さらに、助成を受けている団体を対象に相談会を開催し、活動報告書類や次年度助成申請書類の作成について個別に対応し、円滑な事務手続きが行えるよう支援を行いました。

〇地域の茶の間・ふれあいいきいきサロンの実績

地区名	サロン数				地区名	サロン数			
	高齢者					高齢者			
	市助成			助成無		市助成			助成無
	月1回タイプ	月2回タイプ	週1回タイプ	季節開催等不定期開催		月1回タイプ	月2回タイプ	週1回タイプ	季節開催等不定期開催
新飯田	2	0	0	3	鷲　巻	1	0	0	4
茨曽根	4	0	0	3	根　岸	1	0	0	8
庄　瀬	1	0	1	1	大　通	2	1	0	4

小　林	3	0	1	2	白　根	13	0	1	1
臼　井	2	0	0	2	味　方	3	0	0	8
大　郷	1	0	0	2	月　潟	4	0	1	2
（市助成金活用団体）合計 42 か所					合　計	37	1	4	40
月 1 タイプ（30,000 円）／37 か所 月 2 タイプ（60,000 円）／1 か所 週 1 タイプ（240,000 円）／4 か所					合　計	82（71）			

※（　）内は前年度数

○交流会・研修会の開催

事業名	開催日・会場	内容・参加者
南区ボランティア・地域の茶の間・サロン交流会 参加者 38 名	令和 7 年 10 月 29 日(水)	・健康講座 「良い目覚めは良い眠りから」 ・体しゃっきり体操（南区社協バージョン） ・ボランティア団体とサロン代表者の活動発表 ・情報交換タイム
地域の茶の間・ふれあいいきいきサロン助成事業報告及び申請書類作成相談会 相談対応　24 件	令和 8 年 3 月 24 日(火)、26 日（木）、27 日（金）	令和 7 年度事業実績報告書、収支決算書、令和 8 年度事業申請書、ボランティア行事用保険の加入についての個別相談会

（5）コミュニティソーシャルワーク推進事業

様々な理由から支援が必要な世帯が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、関係機関と連携しながら支援を行いました。

生活困窮の課題に対して、生活困窮世帯へ生活支援を実施しました。賛同団体や企業、ボランティアより協力をいただき、支援を必要とする世帯が相談につながる機会となりました。また、予防的取り組みとして、製作したライフスキルツールを活用し、高校生を対象に家計管理等を学ぶための福祉教育講座を開催しました。

地域福祉ネットワーク会議では、地域と事業所のつながりづくりをテーマに開催し、互いの活動や困りごとについて理解し、協力できることに対してのマッチングの機会としました。

	開催日	主な内容
1	毎月第 2 金曜日	ひきこもりに悩んでいる家族の居場所 ・毎月：交流会 ・3 月：講師に長岡崇徳大学 斎藤まさ子先生を招き、家族と意見交換を実施
2	毎月第 2 金曜日	ひきこもり当事者の居場所（rakkura らっくら）

		ボードゲームや軽作業など、自由にゆったりと過ごしていただく居場所として開催
3	令和7年11月27日（木）	ひきこもり支援連絡会（新潟市ひきこもり相談支援センター共催） ・参加機関 新潟市こころの健康センター、新潟地域若者サポートステーション、新潟市障がい者基幹相談支援センター秋葉、区内地域包括支援センター、南区健康福祉課、、新潟市社会福祉協議会地域福祉係 ・内容 「西白根地区実態把握訪問」報告、事例検討会
4	令和7年12月8日（月）、9日(火)	生活困窮世帯への生活支援 協力：賛同団体・企業
5	【第1回】 令和7年6月27日(金) 【第2回】 令和8年1月30日(金)	地域福祉ネットワーク会議 【第1回】 ・令和6年度開催報告 ・地域と事業所でコラボ活動しよう！ マッチング、名刺交換・活動紹介、意見交換 【第2回】 ・地域と事業所の連携(コラボ)実践報告 ・講話「地域と施設がつながるそれぞれのメリットとは」 講師：新潟青陵大学福祉心理子ども学部社会福祉学科 学科長　李　在檍氏 ・グループワーク
6	毎月開催	生活困窮者情報共有会 生活困窮の相談をもとに、区の保護係と新潟市パーソナル・サポート・センターともに情報共有会を行い、連携して継続的な支援を行えるよう確認しました。
7	令和8年1月14日（水）	ライフスキルツールを活用した福祉教育講座 対象：白根高校3年生（選択授業） 協力：新潟県労働金庫　新津支店

＜実施状況推移＞

区　分	R7年度	R6年度	R5年度
相談受付件数	399件	228件	266件

＜個別支援事例＞

事例概要	生活困窮世帯への支援について。支援者同士での情報共有を行い、カンファレンスを開催して支援方針の検討を行いました。 また、事例をきっかけとし、将来的な生活困窮を予防することを目的に、若年者を対象とした福祉教育講座を開催しました。
支援内容	・「お金がなく、生活に困っている」と相談があり、面談にて現在の生活状況や困りごとについて話を聞きました。 ・カンファレンスを開催し、世帯の状況について確認、共有しました。これまでの支援経過や世帯の課題、必要な支援について整理し、支援方針について相談、確認したうえで、支援者間で役割分担を行いました。 ・支援機関と情報共有を行いながら、面談や電話支援を継続し、世帯との関係が途切れないようにしました。 ・事例をとおして、幼少期にお金の使い方を学習する機会がなかったこと、キャッシュレス決済によりお金の管理が以前よりも難しくなっていることがわかりました。将来的な生活困窮を予防することを目的とし、若年者への福祉教育講座について検討、講座で使用するためのツール(PC ゲーム)を製作しました。 ・高校生を対象に、製作したツールを使用した福祉教育講座を開催しました。一人暮らしを想定した収支表の作成、金融機関からクレジットカードの仕組み等の講話などゲームやワークを通じて、家計管理と困ったときの相談先について学習する機会となりました。
成果	・支援機関がつながることで、情報共有ができるようになりました。 ・役割分担をすることで、ひとつの支援機関に支援が集中することがなくなり、サービスの利用調整など支援展開がスムーズになりました。 ・福祉教育講座を開催することで、若い世代の人達が生活に関するお金の使い方について考える機会となりました。

○南区保健医療福祉のつながりを深める会（共催）

南区保健医療福祉のつながりを深める会に参画し、地域住民が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、関係機関とのネットワーク構築に勤めました。また、ACP（アドバンス・ケア・プランニング：人生会議とも訳され、将来、病気や事故などで自分の意思を伝えられなくなったときに備えて、自分の望む医療やケアについて、本人・家族・医療・介護チームと前もって話し合っておくプロセスのこと）をテーマにした講演会開催に協力しました。

開催日	会　場	内　容
区民公開講座 令和８年２月１日（日）	白根学習館ラスペックホール	基調講演・対談 「幸せの方を向いて生きる ～私のＡＣＰ 生きる力と選択のチカラ～」 講師：人生を奏でる講演家 オカリナ奏者・著者 さくらい　りょうこ氏 聞き手:南区保健医療福祉のつながりを深める会会員 潟東けやき病院　看護部長 若月　美香氏 参加者 270 名

（６）心配ごと相談事業

毎月第２・第４水曜日に心配ごと相談所を開設し、心配ごとや困りごとの相談に対し、適切な助言指導を行い相談者の問題解決に努めました。なお、７・８月は南区人権擁護相談員と合同で相談会を開設しました。

相談員は、本部主催の相談員研修会並びに区主催の相談員研修会に参加し、心配ごと相談員の役割や心構え、傾聴対応等を事例検討を通じて学び、相談員としての資質向上に努めました。

［心配ごと相談所相談件数］

区　分	R7	R6	R5
開催日数（回）	24	24	24
相談件数（件）	8	13	7

［研修会］

	主な内容	参加人数（人）
令和７年７月９日(水) 市総合福祉会館	「法律相談につなぐための判断は？」 講師：あさひ新潟法律事務所　弁護士　山田　聡之　様	5
令和７年 12 月 12 日(金) 南区社会福祉協議会	「心配ごと相談員の役割について」 講師：新潟市社会福祉協議会　地域福祉課地域福祉係 主事　河内　風香	8
令和８年３月４日(水) 市総合福祉会館	「相談の基本と心構え・傾聴対応について」 講師：新潟県臨床心理士会　会長　藤沢　直子	8

（7）生活福祉資金貸付事業

低所得者世帯等を対象に生活福祉資金貸付について相談支援を行いました。

相談を受けるなかでみえてくる生活課題などもあるため、関係機関等と連携しながら支援していく必要があります。

[新規貸付件数]

資金名		R7(件)		R6(件)		R5(件)	
		相談	貸付決定	相談	貸付決定	相談	貸付決定
本則 生活福祉資金	総合支援資金	0	0	3	0	9	0
	福祉資金	5	0	14	0	24	0
	教育支援資金	4	0	1	0	25	0
	不動産担保型 生活資金	0	0	3	0	0	0
	その他	20	0	30	0	23	0
コロナ特例	総合支援資金	0	0	0	0	0	0
	緊急小口		0		0		0
合　　計		29	0	51	0	72	0

○日常生活自立支援事業の推進

地域で安全、安心した生活を送れるよう関係機関と連携し、福祉サービス利用や日常的金銭管理のサービス提供に努めました。

新規契約件数（件）	サービス利用者数（件）	契約終了件数（件）
0（0）	5（6）	1（1）

（　）内は前年度数値

（8）行旅人旅費貸付事業

紛失や盗難等で現金を携行できない行旅人で他の支援策による救済が困難な相談者に対して支援を行うため、他区社協と情報共有を行いました。

区　分	R7	R6	R5
貸付件数（件）	0	0	1

（9）高校進学に向けた相談支援事業

高校進学（義務教育からの卒業）段階で支援を必要とする子どもや世帯の孤立を防ぐことを目的に、表出する地域生活課題とＣＳＷとがつながるきっかけの一つとして、高校進学のための経済的支援の一覧表を作成・配布し、区内中学校に周知を図りました。

３．区社協ボランティア・市民活動事業（市社協基本目標１：孤立を見逃さない地域づくり）

（1）ボランティア・市民活動センター運営事業

既存のボランティア団体の新規登録が増加したため、所属人数が増加しました。

○ボランティアグループ数、人数

区分	高齢	障がい	児童	病院/施設	視覚障がい	聴覚障がい	その他	災害関係	計
団体数	9	3	11	3	1	3	32	1	63
所属人数	169	183	176	61	19	104	631	5	1346
個人人数	2	3	1	1	0	0	4	2	13

○ボランティア保険加入

活動保険（人）	行事用保険（件）
520	531

○ボランティア相談・ニーズ相談件数

ボランティアしたい（件）	ボランティア欲しい（件）	情報提供したい（件）	情報欲しい（件）	計（件）
5	24	7	32	68

○ボランティア・市民活動センター運営委員会

区　分	R7	R6	R5
運営委員会回数(回)	2	2	2
運営委員数(人)	6	6	6

○南区ボランティア・市民活動センターだより

10 月発行号は南区の子育て支援団体のインタビュー特集を掲載しました。子ども食堂や子ども農園、子育てサロンなど、こどもに関わるボランティアについてお話を伺いました。7、9、2 月は社協だよりとの合併号で、登録しているボランティア団体の紹介や、令和 6 年度に行った事業について紹介しました。

区　分	部数	配布先
7 月発行　No.21	送付 1,500 部 新聞折込 10,000 部	ボランティア団体、個人、サロン、施設、学校、法人募金先、賛助会員、その他関係先　※新聞折込による全戸配布
9 月発行　No.22	送付 1,500 部 新聞折込 10,000 部	ボランティア団体、個人、サロン、施設、学校、法人募金先、賛助会員、その他関係先　※新聞折込による全戸配布
10 月発行　No.23	送付・配布 1,500 部	ボランティア団体、個人、サロン、施設、学校、法人募金先、フォーラム参加者、その他関係先、

2月発行　No.24	送付 1,500 部 新聞折込 10,000 部	ボランティア団体、個人、サロン、施設、学校、法人募金先、賛助会員、その他関係先　※新聞折込による全戸配布

〇大雪対応

区分	除雪	生活支援	その他	計	うちﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ活動人数
相談件数	0	0	0	0	0

（2）災害ボランティアセンター運営事業

〇災害ボランティアセンター検討委員会

近年、大規模な震災や、豪雨による河川の氾濫、土砂災害等自然災害や大規模な森林火災、地域での火災により甚大な被害を受ける方が多くなっています。今後も南海トラフ地震に対して関心が寄せられるなど、大きな災害に対する関心が高くなっている傾向が伺えます。

その中で、南区災害ボランティアセンター事業では、昨年度白根ロータリークラブや白根ローターアクトクラブを構成団体として参画いただき、平時から災害に備えて区内で地域防災出前講座や災害ボランティアセンター設置訓練、検討委員会の開催といった災害に関する取り組みを行いました。

区　分	R7	R6	R5
検討委員会回数（回）	4	4	6
検討委員数（人）	9	8	8

＜実施状況＞

開催日	内容	参加委員数（人）
令和 7 年 6 月 18 日(水)	新規メンバー顔合せ、今年度の取り組みについて（年間計画の説明）	13
令和 7 年 8 月 19 日(火)	令和 7 年度災害ボランティアセンター設置訓練について	10
令和 7 年 12 月 16 日(火)	令和 7 年度災害ボランティアセンター設置訓練の振り返りについて	11
令和 8 年 2 月 17 日(火)	令和 7 年度事業振り返りについて 令和 8 年度事業内容について 防災講座の共有、検討委員の推薦依頼の宛先について	10

〇災害ボランティアセンター設置訓練

令和 7 年度の設置訓練では、発災から災害ボランティアセンターの設置、他団体との関わりを通じての役割や位置付け、運営方法などを学び、センターを立ち上げるための必要な動き、留意点や課題など運営スタッフとボランティア双方の視点で共有し、講話や模擬訓練を通じて災害に対する意識の向上を図れるように実施しました。

区分	R7	R6	R5
設置訓練参加者数（人）	42	38	34

＜実施状況＞

開催日	会　場	内容・参加団体	参加者数(人)
令和 7 年 11 月 15 日(土)	味方体育館	●南区災害ボランティアセンター設置訓練（模擬演習） 白根青年会議所、白根ライオンズクラブ、白根ローターアクトクラブ、南区防災士会、茨曽根自主防災会、臼井地区コミュニティ協議会、小林地区自主防災会、庄瀬地区自主防災会、大通自主防災会、味方地区コミュニティ協議会、味方地区社会福祉協議会、南区役所、にいがた災害ボランティアネットワーク、北区社協、秋葉区社協、南区社協	42

〇地域防災（防災学習）

地域防災出前講座は、近年頻発する自然災害による防災に対する意識の高まりもあり地域コミュニティ協議会や老人クラブ連合会、自主防災会、3 団体からお声がけいただき、能登半島地震、新潟市西区の現状の被害状況の報告や災害ボランティアセンターの役割や災害発生時の対応、地域の特徴から日ごろの備え、意識啓発などの防災学習を開催しました。

区分	R7	R6	R5
防災学習参加者（人）	349	154	236

＜実施状況＞

開催日	会　場	内容（参加団体）	参加者数（人）
令和 7 年 10 月 5 日(日)	庄瀬小学校	庄瀬地区総合防災訓練（庄瀬地区コミ協・自主防災会・庄瀬地区住民）	140
令和 7 年 10 月 25(日)	茨曽根小学校・生活センター	茨曽根地区自主防災訓練（にいがた災害ボランティアネットワーク・自主防災会・茨曽根地区住民）	74

令和７年 11 月 1(土)	新潟市アグリパーク	地区防災教室 （にいがた災害ボランティアネットワーク・鷲巻地区コミ協・大郷地区コミ協・大鷲小学校教諭）	35
令和８年３月８日(日)	白南中学校	白南防災啓発講座 （自主防災会・庄瀬地区、茨曽根地区、新飯田地区住民）	100

（３）ボランティア・市民活動育成事業

〇ボランティア講座・交流会

令和７年度のボランティア・サロン交流会は、健康テーマを「睡眠」として良い眠りを学ぶ講話、先進的なサロンの取り組みの紹介、ボランティア活動発表の Jazz 演奏、体しゃっきり体操、情報交換会で構成しました。中学生ボランティア交流会では、小さなことでも自分の好きなことや得意なことがボランティアとなること、それを喜んでくれる人がいることなど、自身の電車の保存活動に照らし合わせてボランティアの楽しさを伝えました。

区　分	R7	R6	R5
ボラ講座参加者数（人）	－	41	98
新規ボラ団体設立（団体）	0	4	0
交流会参加者数（人）	76	84	95
施設研修会参加数（人）	－	－	－

＜実施状況＞

開催日	事業名	参加者数 (延べ人数)
	ボランティアきっかけ作り講座　※実施なし	―
令和７年４月～令和８年３月	助成金申請(2 団体)及びボランティア団体表彰推薦(3 団体)	5 団体
令和7年5月8日(木)～ 令和8年3月 12 日(木)	ボランティアサロン「みなくる」	39 名
令和７年 10 月 29 日(水)	ボランティア交流会	38 人
令和７年 12 月 24 日(水)	中学生ボランティア交流会	38 人

（４）福祉教育推進事業

令和７年度の福祉教育を実施した学校数は、区内小学校 9、中学校 3、高校 1 に加え、西蒲区の小学校でも授業を行いました。また福祉教育の新しいメニューとして、ユニバーサルデザインを学ぶプログラムや知的障がいの理解についてを新しく加えました。

また、地域の課題を学ぶ講座として「自尊感情と農業」というテーマで講座を開催し、現役の県立高校教諭と居場所の支援者（ひきこもり経験者の親でもある方）にご登壇いただいたき、農作業が自尊感情を育む有効な方法であることについてお話しいただきました。

○依頼を受けての福祉教育

区　分	R7	R6	R5
福祉教育実施学校（校）	14	24	9
大人の福祉教育実施（回）	0	1	7

＜実施状況＞

対象	内容	回数	参加者数 （延べ人数）
新飯田小学校４年生	・講話（福祉、視覚） ・当事者講話（視覚、聴覚） ・当事者体験（手話、ボッチャ） ・体験（音声訳ボランティア）	６回	30 人
茨曽根小学校４年生	・講話（福祉、視覚） ・当事者講話（視覚、聴覚） ・当事者体験（手話） ・体験（音声訳ボランティア）	５回	90 人
小林小学校４年生	・講話（福祉、視覚） ・当事者講話（視覚） ・当事者体験（ボッチャ） ・体験（音声訳ボランティア、ユニバーサルデザイン、施設訪問）	７回	210 人
臼井小学校４年生	・講話（福祉、視覚、高齢者） ・当事者講話（視覚） ・体験（高齢者）	５回	105 人
大鷲小学校４年生	・講話（福祉、聴覚） ・当事者講話（聴覚） ・当事者体験（手話） ・体験（聴覚）	４回	60 人
根岸小学校４年生	・講話（福祉、視覚） ・当事者講話（視覚、聴覚） ・当事者体験（手話） ・体験（音声訳ボランティア、施設訪問、ユニバーサルデザイン）	７回	154 人
大通小学校３年生	・講話（福祉、視覚）	２回	189 人
味方小学校４年生	・講話（福祉、視覚） ・当事者講話（視覚、聴覚） ・当事者体験（手話） ・体験（音声訳ボランティア）	５回	155 人

対象	内容	回数	参加者数 （延べ人数）
月潟小学校 4 年生	・講話（福祉、聴覚、認知症） ・当事者講話（聴覚） ・当事者体験（手話）	5 回	155 人
味方中学校 1 年生	・講話（福祉、高齢者、認知症） ・体験（高齢者）	4 回	112 人
月潟中学校 3 年生	・講話（福祉、視覚） ・当事者体験（車いすバスケットボール）	3 回	78 人
白南中学校 2 年生	・地域の課題を捉え解決策を考える	5 回	170 人
白根高等学校 3 年生	・講話（福祉、視覚、ボランティア） ・当事者講話（視覚） ・当事者体験（ボッチャ） ・体験（音声訳ボランティア、ライフスキル学習）	6 回	60 人
松野尾小学校 4 年生 ※西蒲区	・当事者講話参加（視覚） ・体験（音声訳ボランティア）	2 回	28 人

○福祉教育講座の開催

＜実施状況＞

開催日	事業名	参加者数 （延べ人数）
令和 7 年 8 月 20 日(水)	福祉教育講座「自尊感情と農業」 ・対談 ひきこもりさんの親の会・フォルトネット代表 関口 美智江氏 もと十日町高校定時制課程教諭・現県立新潟南高校教諭　相馬 謙司氏	29 人

４．区社協広報・啓発活動事業（市社協基本目標３：信頼され、安定した法人経営）

（１）共に生き支え合う南区地域づくりフォーラム・第 17 回南区社会福祉大会

南区では、少子化が進行する中にあっても、子どもや子育て世帯を含むすべての区民が安心して暮らせる地域づくりを目指し、地域コミュニティ協議会や自治会・町内会、NPO など多様な関係団体と連携しながら取り組みを進めています。

「地域共生社会」および「支え合いのしくみのある地域」の実現に向け、地域での実践や活動を広く共有し、区民の地域福祉活動への理解と参加意識を高めることを目的として、「共に生き支え合う南区地域づくりフォーラム・第 17 回南区社会福祉大会」を開催しました。

視聴期間	主な内容
令和 7 年 12 月 13 日(土)	【第 1 部】

白根学習館 ラスペックホール 参加数 108 人	表彰式（福祉篤行表彰・永年勤続表彰） 【第 2 部】 実践報告 「子育て支援からつながる地域づくり」 講師・コーディネーター 新潟県立大学　人間生活学部　子ども学科 教授　小池　由佳 氏 実践報告 「南区の子育てをひとりぼっちにしない！！」 子育てオーエンジャー☆みなみ 藤村　陽子氏　本間　良子氏 「地域で子育て　ひろがれ人の輪　地域の輪」 大郷地区コミュニティ協議会 遠藤　雪恵氏　滝澤　由佳里氏 「誰かは誰かのちからに！～みんなが主役の居場所づくり～」 コミュニティカフェわしのき 真柄　渉氏

（2）広報「区社協だより」及び「ボランティア・市民活動センターだより」の発行

広報誌名・№	発行日	掲載内容
区社協だよりみなみ 第 59 号 ※区ボランティア・市民活動センターだよりとの合併号	令和 7 年 7 月 6 日(日)	・地域の居場所紹介 ・R7 年度社協会費納入のお願い、R7 年度事業計画･予算、R6 年度事業報告・決算報告 ・R6 年度共同募金実績報告 ・ひとり親世帯支援寄付募集案内 ・ひきこもり居場所案内、ふれあい・いきいきネットワーク事業紹介、緊急情報キット案内、心配ごと相談所案内 他
区社協だよりみなみ 第 60 号 ※区ボランティア・市民活動センターだよりとの合併号	令和 7 年 9 月 28 日(日)	・地域福祉活動紹介 ・南区の支え合い・助け合い活動紹介 ・赤い羽根共同募金運動協力のお願い、共同募金公募型助成案内、生活支援事業実施報告 ・賛助会員企業、フォーラム開催案内 ・地域の茶の間・サロン・子育サロン・こども食堂マップ　他
区社協だよりみなみ 第 61 号 ※区ボランティア・市民活動センターだよりとの合併号	令和 8 年 2 月 22 日(日)	・若者のためのライフスキル学習紹介 ・公式 LINE 開設案内 ・フォーラム開催報告、R7 表彰報告 ・寄付、R7 赤い羽根共同募金運動実績報告 ・地域福祉ネットワーク会議報告 ・賛助会員企業、生活支援事業実施報告 他

５．区社協運営事業（市社協基本目標３：信頼され、安定した法人経営）

（１）理事会の開催状況

区　分	開催日・会場	協議題
第１回理事会	令和７年４月９日（水） 南区社会福祉協議会 会議室	(1) 南区社会福祉協議会役員の選任について (2) 南区社会福祉協議会会長・副会長選任について (3) 南区社会福祉協議会　監事の選任について
第２回理事会	令和７年５月 21 日（水） 南区社会福祉協議会 会議室	(1)令和６年度南区社会福祉協議会事業報告について (2)令和６年度南区社会福祉協議会収支決算について
第３回理事会	令和７年９月 10 日（水） 南区社会福祉協議会 会議室	(1)令和 7 年度南区社会福祉協議会会長表彰被表彰者の選考について
第４回理事会	令和８年３月 11 日（水） 南区社会福祉協議会 会議室	(1)南区社会福祉協議会　理事の選任について (2)令和８年度南区社会福祉協議会事業計画（案）について (3)令和８年度南区社会福祉協議会収支予算（案）について (4)南区社会福祉協議会表彰要綱の一部改正について (5)おせち料理宅配事業の見直しについて (6)地域ふれあい助成事業の見直しについて

（２）監事会の開催

区　分	開催日・会場	監査事項
監事会	令和７年５月 14 日(水) 南区社会福祉協議会 相談室	・令和６年度南区社会福祉協議会事業実施報告について ・令和６年度南区社会福祉協議会収支決算について

(３)会員会費の納入状況(目標額：1 世帯 500 円)

地区名	世帯数	納入世帯	納入率	納入金額（円）
新飯田	475	472	99.4%	236,000
茨曽根	404	403	99.8%	201,500
庄　瀬	615	609	99.0%	304,500
小　林	1,192	878	73.7%	439,000
臼　井	965	807	83.6%	403,500
大　郷	455	416	91.4%	208,000

鷲　巻	508	508	100.0%	254,000
根　岸	1,123	995	88.6%	497,500
大　通	2,483	2,019	81.3%	1,009,500
白　根	3,760	2,864	76.2%	1,432,000
味　方	1,308	941	71.9%	470,500
月　潟	1,132	1,023	90.4%	511,500
合　計	14,420 (14,225)	11,935 (11,930)	82.8% (83.9%)	5,967,500 (5,960,300)

※（　）内は前年度数値

（4）法人等の賛助会員数と実績額の状況

個　人　　47 人　　59,500 円　（74 人　75,500 円）

法　人　　40 社　　248,000 円　（28 社　215,000 円）

（5）役職員研修事業

役職員の資質向上を図るため、県民福祉大会や各種研修会へ積極的に参加しました。

研修名	参加人数
第 75 回県民福祉大会	4 人

6．市受託事業の推進

（1）元気力アップ・サポーター事業

高齢者が介護施設などでのサポート活動を通じ、高齢者の社会参加を促進し、健康増進や介護予防及び地域の活性化を目的とした事業です。受入協力機関として指定された施設・事業所等でサポート活動を行った場合に、年度ごとに活動実績をポイントとして評価し、ポイント数に応じて、サポーターの申請により交付金として還元しました。

区　分	説明会		サポーター登録者数（人）	登録施設数（施設）
	開催数（回）	参加者数（人）		
令和 6 年度	3	16	（新規）6	0
合計 ※1.2 は累計	239 ※1	207 ※2	134	48

〇元気力応援事業　　※R6 年度より廃止

7．共同募金事業の推進

［令和 7 年度赤い羽根共同募金並びに歳末たすけあい募金実績額］

区　分	令和 7 年度 目標額	令和 7 年度 実績額	達成率	令和 6 年度 実績額	対前年比較
共同募金	6,779,000 円	6,009,303 円	88.6 %	6,026,422 円	△17,119 円

歳末募金	2,876,000 円	3,026,632 円	105.2%	3,004,339 円	22,293 円
合　計	9,655,000 円	9,035,935 円	93,6%	9,030,761 円	5,174 円

［赤い羽根共同募金の募金別内訳］

募金種別	募金額	割合
戸別募金	4,923,601 円	81,93%
法人募金	741,384 円	12,34%
学校募金	162,955 円	2.71%
街頭募金	43,975 円	0.73%
職域募金	53,849 円	0.9%
イベント募金	704 円	0.01%
その他募金	82,835 円	1.38%
合　計	6,009,303 円	100.0%

［歳末たすけあい募金の募金別内訳］

募金種別	募金額	割合
戸別募金	2,990,601 円	98.8%
職域募金	30,902 円	1.0%
その他募金	5,129 円	0.2%
合　計	3,026,632 円	100.0%